
❖ 基礎研究部門 ❖

ワークショップ

真宗学と談義本（勸化本）
—殿内先生にご教示を仰ぐ研究談話会—

2024 年 9 月 7 日（土）14:30～16:00

龍谷大学大宮学舎 西翼 3 階小会議室



殿内 氏

❖ 概 要 ❖

2024 年 9 月 7 日（土）に、龍谷大学世界仏教文化研究センター 基礎研究部門古典籍資料総合研究班「龍谷大学大宮図書館所蔵近世勸化本選集の作成をめざす研究」主催、「真宗学と談義本（勸化本）」と題するワークショップが開かれた。講師は殿内恒氏（龍谷大学教授）で、司会は和田恭幸氏（龍谷大学教授）がつとめた。

「殿内先生にご教示を仰ぐ研究談話会」という副題の通り、まず司会の和田氏より、日本文学研究における「談義本（説教本／勸化本）」の定義や研究傾向を紹介したうえ、講師の殿内氏に真宗学における「談義（本）」のイメージや取り扱い方などについて問いかける。それを受けて、殿内氏は「談義」がはっきり定義されてこなかったことを指摘し、「勸化」「談義」の用例を通して、仏教語としての「談義」の捉え方、また安居「会読」とのかかわりについて説明した。最後に、「伝道学」の視座から、龍谷大学真宗学科における教育課程の展開を実例として、布教現場ともかかわり、「談義本」研究への期待を述べた。質疑応答では、真宗各派における用語理解の差異が取り上げられて、活発な意見交換が行われた。



会場の様子